

東京秋工委会會報  
**KANASA**  
金 砂

**VOL.1**  
**創刊号**



**東京秋工委会**

秋田県立秋田工業高等学校同窓会 東京支部

## ■ 会報創刊にあたって ■

東京秋工会会長 澤木 誠一 (26 E)



東京秋工会の旗ができ、総会で飾れるようになって数年が経ちました。

そして他に何か会のために必要なものはないかといういろいろ考えておりましたところ、会報を出すのがいいのではないかということになったわけです。

我が東京秋工会には、文才に秀でた人が多くおられますので早速その制作作業に入り、お蔭様にて東京秋工会会報<KANASA>を創刊する運びとなりました。会報制作の労にたずさわった皆様には、深く感謝の意を表す次第です。

<KANASA>が私共東京秋工会の機関誌としてその使命を十分に果たすことによって、同窓会をより活性化し、同窓の皆様をつながりより一層深めることはもちろん、同窓以外の方々にも我々東京秋工会の存在並びにその活動状況をアピールする上において極めて重要な存在になるものと期待しております。

東京秋工会は、平野井雷治初代会長による創設依頼既に40年近く経っているものと思われませんが、その初期の記録は残念ながら何も残っておりません。今後この会報が東京秋工会の記録を残す資料としても役立つことは申すまでもありません。

そのためにもこの会報の発行が短命に終わることなく、益々充実して永く発行し続けることが肝要です。どうぞ会員の皆様には広告の掲載、記事及び話題の提供等、絶大なる御支援、御協力をお寄せいただけますよう何卒宜しく願います次第です。

東京秋工会会報  
**KANASA**  
金 砂

# ■ 会務・会計報告 ■

## ● 会務報告 ●

(平成4年9月～平成5年9月)

年	月	日	内 容
平成4年	9月	25日	幹事会
	10月	3日	東京秋工会総会(於 東京プリンス)
		16日	幹事会
	11月	12日	秋田市長主催 ふるさとのつどい 澤木会長他有志出席
		20日	第3回東京秋工会ゴルフコンペ(龍ヶ崎カントリー倶楽部)
12月	1日	秋高連忘年会 澤木会長出席	
平成5年	1月	13日	秋田県知事主催新年会 澤木会長他有志出席
	2月	13日	南高校同窓会東京支部総会 澤木会長出席
	3月	12日	秋高連役員会 澤木会長出席
	4月	9日	秋高連委員会 澤木会長出席
		20日	秋田市長との懇談会 澤木会長出席
	5月	13日	秋高連役員会 澤木会長出席
	6月	5日	東京雄水会(秋田商業同窓会東京支部)総会 齊藤幹事長出席
		6日	秋工同窓会大阪支部総会 澤木会長出席
	7月	11日	第4回東京秋工会ゴルフコンペ(六戸国際カントリークラブ)
		16日	秋高連役員会 澤木会長出席
8月	26日	秋高連全体総会 澤木会長他11名出席	
	27日	幹事会	

## ● 会計報告 ●

(平成4年4月1日～平成5年3月31日)

収入の部		支出の部			
項 目	金 額	項 目	金 額		
*前年度繰越金	316,627	*総会案内 ・はがき, 封筒代	24,032		
*年会費(111人)	333,000	・印刷代	45,389		
*総会費	276,500	・切手代	73,990		
*寄付金	・秋田工業高校	10,000	・文房具代	360	
	・同窓会本部	10,000	・雑費	830	
	・秋田市	10,000	*総会費	・東京プリンス	290,614
	・東京雄水会	10,000	・酒代	13,930	
*雑収入(会長他)	29,500	*秋高連年会費	10,000		
		*東京雄水会御祝儀	10,000		
		*秋田南高校総会御祝儀	10,000		
		*年会費振込手数料	4,080		
		*秋田魁新報広告費	30,900		
		*借入金返済	318,713		
		*幹事会会食費(2回)	59,285		
		※次年度繰越金	※103,504		
●収入の部合計	995,627	●支出の部合計	995,627		

## ■ 会員の皆様へ ■

東京秋工会幹事長 斉藤 右二郎 (26 M)

関東地域にお住まいの東京秋工会会員の皆様如何がお過ごしでしょうか。本年度も総会開催の日が近づいており、例年どうり9月下旬にはご案内を郵送すべく現在その準備を進めております。

さて、幹事会では皆様の東京秋工会がどうあるべきなのかについてこれまで様々に協議をしてまいりましたが、本年度より会報を発行することとなりました。会のあり方につきましては、皆様には多々お考えがあらうかと思いますが、そうしたお考えあるいはご意見を具体的に発表できる場として、あるいは会の活動等につきましての情報を確認できるものとして皆様にご利用いただければと考えております。正直申しまして少ない予算での制作ですのでどれほどのことができるかということもありますが、この会報の発行が少しでも会の活性化と会員の皆様のお役に立てばと考えている次第です。

次に総会に対する私なりの思いと考えを述べさせていただきますが、私は秋高連（在京秋田県高等学校同窓会の連合会）の交流活動の一貫として他校の総会に出席する機会があります。そこで感じられることは、各校とも如何に多くの同窓生に出席してもらうかについて努力しているということです。特に若い同窓生の出席についてが課題となっています。当会についてもそれは例外ではありません。

総会に出席するということは「人との出会い」の場を得ることであり、出会いによって得られた様々な情報や交流は、必ず人生にそ

して仕事にきっとプラスになると考えます。総会の場で校歌や応援化を唄うもよし、同窓会ならではの世代を越えたコミュニケーションがそこに生まれ、きっと何か出会いによる「幸」を持って帰れるはずです。

若い世代の同窓生諸君、我が東京秋工会の先輩諸兄は喜んであなたたちを迎えてくれます。どうぞ「幸」を持って帰れるこの総会へ出席いただきますようお願いいたします。

これから幹事会では、この会報を柱として東京秋工会活性化のための様々な企画を打ち出していきたいと考えております。会員の皆様のご意見やご提案等をぜひお聞かせ願いたく思います。また会報につきましては記事等寄稿をご依頼することもあるかと存じますので、何卒ご理解とご協力の程をお願いいたします。



# ■ 地球に彫刻して30年 ■

＜会員寄稿＞

小野鉄雄 (38 C)

「三八豪雪」に卒業、雪深い秋田から寝台列車で上京、現在の会社に入社、あっという間に30年勤続の表彰を受けた。勤務地は東京をスタートに、大阪、徳島、愛媛、大分、福岡、山口、岡山、と瀬戸内海を一周し名古屋へ転勤、20年間関西地区での務めであった。

重厚長大産業を中心に、大型設備投資を24時間体制で対応した「いざなぎ景気時代」、第1次オイルショック以降の建設業界「冬の時代」、平成景気で企業体力を回復できたと思ったらバブル崩壊で再び「冬の時代」へ突入し

目まぐるしい景気循環に遭遇しながら各地を回り、現在東京勤務である。

全国津々浦々仕事や遊びで回り、それぞれの郷土の名物・名産を見て、聞いて、味わう等、貴重な体験により五感での大きな大きな財産を得たことに感謝したいと思う。

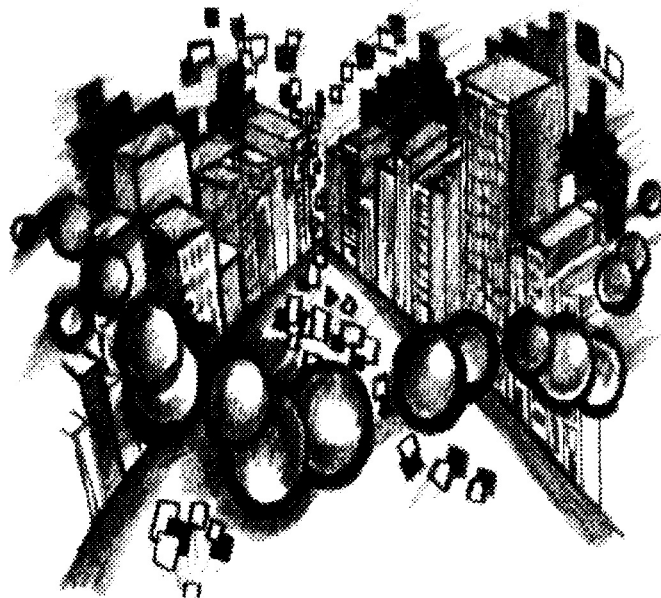
歴史の流れは我が郷里にも起こり、冬の味覚＜秋田のハタハタ＞、年末に届いていた＜い寿司＞と＜塩漬＞。漁獲量がピーク時2万トン前後あったハタハタが、91年70トンまで落ち込み、資源枯渇の危機感から自主規制に追い込まれるなど、故郷の味をかみしめることが出来なくなったのは、男鹿の海で育ったものとして残念でならない。

歴史の繰り返しを期待して止まない。

平成元年に初めて母校のOB会(東京秋工会)に出席して、金砂健児の勢いに圧倒されながらも各テーブルをまわり、初対面の先輩はじめ後輩の皆さんと名刺の交換をしながら懇談に入った。初参加で緊張しながらの挨拶をしてから以降、毎年出席しているが、土木科のOBが少ないが目立つ。

会社という枠にとらわれずにアフターファイブで、情報や刺激との「出会い」を求めて飲ミネーションをはかりながら、自己研鑽するのも交流会の意義であろうと思う。

昨年から東京秋工会の幹事をおおせつかったのは、土木科OBの参加意識を高めることが役目であると認識している。



# ■ 友人からの手紙 ■

＜寄稿エッセイ＞

笹 渕 茂 (21 Y)

文部大臣からの教育功労賞の受賞、おめでとうございます。

こういうすばらしい賞は、だれでもいただけるものではありません。あなたご自身のお人柄、教育に携わった過程での並々ならぬご努力のたまものでございましょう。あなたの言葉にもあるように、「これからさらにがんばらなければ」を推し進めた、一層のご成果に期待します。がんばってください。

受賞時にお会いしたという〇さん。昨年の秋工同窓会と首都圏男鹿の会、そして今年の秋田県知事主催の新春交歓会でわたしも会いました。話もしました。

ただし、わたしを覚えているかどうかは別。

平成〇年〇月〇日

さて、"大幅に"遅ればせながら「再退職」のご挨拶を申し上げます。

会社へのご手伝いも、九月いっばいで"終了させてもらった"。来年前半の途上で、国も"認知"する六十五歳のはや「老人」のわたし。

会社にお手伝いした期間はちょうど二年。二、三カ月の予定がとうとう今までになってしまった。しかしそれは楽しく勉強させてもらった日々でもあった。

再三にわたって引き留められたが、そろそろこの辺がわたしにとって引き時。

ありがたい話と思いつつもそう判断した次第。みんなはもったいないというのだが、わたしにしてみればわたし自身の体がそれ以上にもったいない。

七十五歳まで生きたとして、余命はあと十年。この十年を大切に、ゆっくり過ごそうと思う。わがままだろうか。

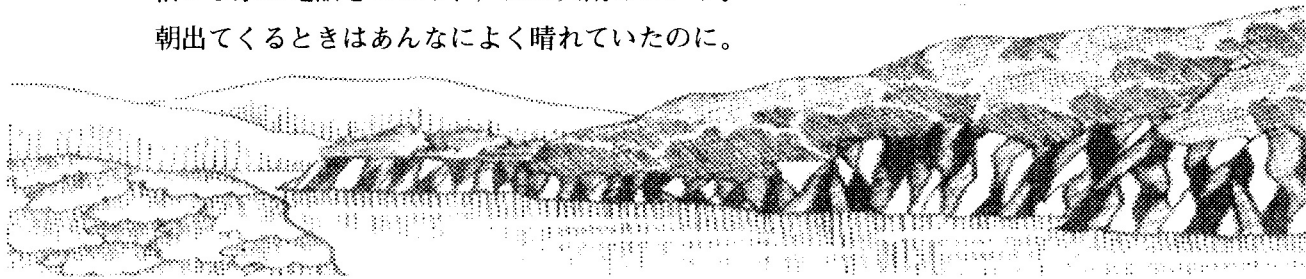
会社へのお手伝いを終えた途端に、あの会この会と「会」が目白押し。

その間を縫って、250ccのバイクで東北へ。

戸田から岩手の平泉まで一気に走ってそこで一泊。約440km。もちろん一般道を走った。物見遊三にはこれが一番。高速道路だとおもしろ味が半減する。

宿から家に電話をしたら、戸田は大雨だという。

朝出てくるときはあんなによく晴れていたのに。



十和田湖，八幡平，田沢湖と、その紅葉をめでてきたが、例年に比べ"未完熟"。  
このあいだの台風で、肝心の葉っぱが落ちてしまったためだと地元の人はいう。  
発荷峠からながめた小雨にけぶる十和田湖は寒い。景色も、からだも。  
その日はおいらせ泊。

そして翌日は八甲田山の裏を走り、  
青森部隊の遭難地に立つ八甲田の  
シンボル「雪中行軍遭難記念像」  
を見学。遭難の際豪雪の中で立ち  
続け、捜索隊の目印になったとい  
う後藤伍長の雄姿がりりしい。  
紅葉いまだしとはいっても、裏側  
から見た八甲田は見事だった。  
道々の紅葉のトンネル、これまた  
どの部分をカットしても絵になる。  
途中気づいたことだが、いずれの  
道を走っても落ち葉が道路の両脇  
にきれいに寄せられていた。



道路管理が徹底しているのに感心させられたことだった。さすが国立公園。

お昼ちょっと前、青森市内の友人宅に着。二泊。

その間、市内見学、わたしにとっては何十年ぶりでの市場見学など、友人夫妻ともども  
友人の車で。ここではご夫妻とともに二夕べにわたって近くの温泉へも。

帰途は青森空港横の有料道路を走り国道7号線に出た。快晴、風少々。

碓ヶ関から7号線とも別れ、282号線で小坂、鹿角市を通り八幡平、田沢湖へと向かった。

282号線に入ったところから雨。クマの出てきそうな昼なお薄暗い坂梨峠をひた走る。

田沢湖周辺では温泉三軒をつぎつぎに"はしご"。最終の温泉はぬるま湯だった。

ここで一泊したもの、朝起きたらどうやらカゼぞみ。

一気にうちまで走ろうと思ったのだが、福島の大矢吹あたりで疲れが出てここで一泊。

最後の温泉のぬるま湯がたたったと見えて、自宅へ帰ったとたんに五日間寝込んでし  
まった。トシだトシだとみんなに冷やかされる始末。

本人はまだ六十四歳の"青年"と思っているのに。

もっとも五日間床に伏したといっても、前述のように、ほぼ一日置きに「会」へ義理立  
ての出席。これでカゼをこじらせてしまったらしい。

八泊九日の旅だった。

お元気で。

## ■ ゴルフ会から ■

東京秋工会ゴルフ会幹事 三平俊悦 (39A)

東京秋工会の幹事会で、会の活性化のために何か企画をしようということで、様々話し合った中で、ゴルフ、スキー、釣り、囲碁、将棋等の同好会を作ったらとの話があり、私がゴルフ好きなこと、そして幹事諸氏の賛同を得ることができたことなどから、ゴルフ同好会を発会し、コンペを催すこととなった次第です。昨年の総会でもご紹介いたしました、初めてお聞きになる方もいらっしゃると思いますので、簡単にこれまでの経緯を記したいと思います。



第4回東京秋工会ゴルフコンペにて

第1回ゴルフコンペは平成3年10月18日、ウィルソンロイヤルG.C(やさどコース)で開催され、3組12名の参加でスタート。同コースメンバーの川端邦夫氏(31MB)が地主の利?で優勝されました。コンペ終了後の親睦会では、参加者からこの会の開催を年2回にし、もっと楽しいものにしてほしいとの意見が多く出るなど、心強く感じられました。

第2回は平成4年6月4日、鶴舞カントリー倶楽部(巨匠井上誠一設計)にて開催。5組19名でスタート。実力No.1の呼び声の高かった志賀英一氏(31K)が優勝されました。前回よりも参加者が増え会も盛り上がってきました。

第3回は平成4年11月20日、龍ヶ崎カントリー倶楽部(日本オープン開催コース)で行なわれ、前回と同じ参加者数でスタート。当日は大雨・強風で新幹線が不通になるなど大変な天候ではありましたが、全員最後までプレーを続けられ、また紅一点の染谷厚子さん(47K/夫婦参加)も男性軍に混ざって最後まで奮闘、さすが金砂健児の粘り強さと感心した次第です。優勝は、悪天候を若さで吹き飛ばした下総勉氏(47A)がされました。

そして第4回、実戸国際カントリークラブ(実戸コース)において6組23名の参加で開催。当日は晴天に恵まれ最高のゴルフ日和でした。藤田昌博氏(39A)が完全優勝されました。藤田氏は、4年程前に胃の摘出手術を受けており、

今回のコンペの前も体調が悪かったとのことで同級生の私としては心配をしておりましたが、ゴルフが証明しているように回復され、安心している次第です。

今回のコンペパーティーは今までになく盛り上がりましたが、その中で参加中最年長の小野寺繁郎氏(17E)のお話を紹介します。

小野寺氏はその健康法として、毎日ランニングをしているとのことですが、走る事がとにかく好きで、マスターズ陸上競技会にも出場し、100m・14秒、200m・28秒の記録を持ち、400mでは敵なしで関東No.1とのこと。元気でたいへんな頑張り屋であり、コンペ参加の皆さんも小野寺先輩の話に勇気づけられたと思います。

第4回コンペのパーティーは参加者がこれまで最高の人数を記録したこともあり、アルコールが進むにつれ、秋田弁がでたりしてそれぞれの話が弾み、懇親が深まったと思います。

ラストは校歌、応援歌を斉唱し、続いて小野寺先輩の発声で万歳三唱し、次回の再会を期しつつ盛大裏に閉会しました。

尚、このゴルフコンペの第10回を記念大会とし、秋田で開催(平成8年6月頃)することを決定いたしましたことをご報告いたします。

また、第5回東京秋工会コンペを本年10月頃に予定しておりますので、参加ご希望の方は、幹事までご連絡ください。(連絡先は、8ページ下に)



# ■ 会報の制作にあたって ■

東京秋工会会報制作担当 船木一美 (48M)

会報を作ろうと考えてから、かれこれ2年近くなるかと思えます。一昨年、昨年と、総会案内と一緒に笹渕先輩のエッセイをメインにして作った案内報をお届けさせていただきましたが、あれはいわば本格的な会報を創刊するための準備号的なものでした。

そして今回、幹事会で具体的な賛同を得ることができ、本会報を創刊する運びとなりましたが、私が言いだしっぺであることやデザインという仕事に携わっていることもあり、制作を担当することになった次第です。

会員の皆様に喜んでもらえるだろうかとか、予定どうりの日程で仕上がるだろうか等々、こうしたものの制作にありがちな心配をひとつうりしながら、なんとか間に合わせる事ができました。

短い時間で原稿を書いてくださった先輩諸氏、そして本会報制作の主旨に賛同いただき広告を掲載いただいた各会社並びに会員の皆様には心から感謝いたします。

さて、どういった経緯で会報を作るようになったのか?といったことにつきましては、澤木会長及び斉藤幹事長が本紙の文中にて記しておられますので、ここでは省かさせていただきますが、この会報制作にあたっての考えと皆様へのお願い等につきまして少々記させていただきます。

この会報制作・発行の大きな目的の一つとして、きっかけづくりということがあります。一昨年のこと、案内報に書かれていたエッセ

イとイラストを見て、初めて来る気になったと言っておられた先輩がいらっしゃいましたが、あの案内報を制作担当した私としては、きっかけづくりに役立ったんだと非常に嬉しく思った次第です。

もう一つは、この会報で会あるいは会関連の情報を会員の皆様に提供することで、総会やその他関連の会合等に出席される方々に、話題を提供できるのではということがあります。特に初めて出席してみようという方にとってどんな会なのか、あるいはどんな人がいるのかといったような前情報は、心強い味方になるのではないかと思います。

東京秋工会は本音の言える会でありたいと澤木会長はよく言われますが、会員の皆様も同感であろうと思います。特に仕事のことににおいては、けっして無理強いをするものではありませんが、会員同士が助け合っているような形が作ればと考えます。広告による情報の掲載は、そういった意味で有効且つ重要な要素であると思います。

今回は短い時間での制作で、満足いただけるだけの情報を盛り込むことはできなかったかもしれませんが、今後は母校の話題や会員の皆様からの様々な情報を掲載し、よりバラエティーに富んだものにしていければと考えています。そのためには企画・記事・広告と皆様にご協力願わなければならないことが多々あります。この会報の主旨をご理解いただき気軽にそして有効にご利用いただければ幸いです。考える次第です。

## ■ INFORMATION

### ●企画の募集

会及び会報で、こんなことをしたら?あるいはこんなことを掲載して欲しいといったご提案がありましたらどしどしお寄せください。

### ●記事等の募集

次回の発行に向けて準備に入ります。自分の回りでこんなことがある、あるいはこんな文章を書いてみたいという方はご連絡ください。

### ●ご意見をお聞かせください。

今後の参考にさせていただきます。

### ※ゴルフ会及び左記事項等の連絡先

#### ●ゴルフ会 担当幹事 / 三平俊悦 (39A)

TEL 03-3442-8411 会社:(株)新井組

TEL 03-3926-9238 三平氏自宅

#### ●会報制作室 担当 / 船木一美 (48M)

TEL 03-5489-5024 (有)TPO内

FAX 03-3770-0077

#### ●東京秋工会本部 澤木誠一会長 (26E)

TEL 03-3501-0937 澤木萬國特許事務所内

FAX 03-3595-0059

## ■ 賛助広告 ■

- 本会報を創刊するにあたりましての諸費用は、全てこの賛助広告の収入により賄うことができました。本会報の主旨にご賛同いただき、快く広告の掲載に応じていただきました各企業及び会員の皆様には、改めまして御礼申し上げます。
- この広告には協賛いただいた企業等と、そこで活躍されている会員の方の名前と卒業年度等を記しております。会員の皆様の仕事における情報源としてお役立ていただければ幸いです。

### 澤木萬國特許事務所

内外国への特許，実用新案，意匠，商標出願  
侵害事件についての相談・鑑定・調査

所長弁理士 **澤木 誠一**  
(昭26 電気科卒)

弁理士 **澤木 紀一**

〒105 東京都港区虎ノ門1-18-1 第10森ビル8F  
TEL: 03-3501-0937(代)  
FAX: 03-3595-0059

### 播磨・大久保法律事務所

〒107 東京都港区北青山1-2-3 青山ビル4F  
TEL: 03-3402-5101・5374  
FAX: 03-3595-0059

弁護士 **播磨 源二**  
(昭31 電気科卒)

自宅 〒188 東京都田無市向台1-19-5  
TEL: 0424-65-8282  
FAX: 0424-64-8818

弁護士 **大久保 誠太郎**

自宅 〒188 東京都江戸川区北小岩7-13-5  
TEL: 03-3658-5422

#### 【業務案内】

- (A) 取扱 ● 土地建物，借地借家，金銭貸借，担保，会社設立，  
売掛金，倒産，リース契約，工業所有権，行政  
● 相続，遺言，夫婦，親子 ● 交通事故 ● 刑事  
※ 以上についての相談，折衝，調停，訴訟，執行
- (B) 費用 弁護士会規定に基づく。
- (C) 時間予約制，秘密厳守



TKCコンピュータ会計

### 川口正明税理士事務所

税理士 **川口 正明**  
(昭42 電気科卒)

事務所: 〒105 東京都港区東新橋2-4-10 共同ビル7F  
TEL: 03-3432-5470 FAX: 03-3433-1607  
自宅: 〒211 川崎市古市場2-79-10 アルス新川崎209  
TEL: 044-555-5912 FAX: 044-541-2353

クリエイティブワークをトータルに  
サポートいたします。

- 工業デザイン
- 商品企画・開発
- パッケージデザイン
- 販促企画
- イベント企画
- カタログ等の制作
- CI企画・デザイン
- イラスト・鳥瞰図等制作
- サイン・マーク
- その他

プロダクトデザイナー **船木 一美**  
(昭48 機械科卒)

**TPO**  
TOTAL PLANNING OFFICE

有限会社ティエー・ピー・オー  
〒150 東京都渋谷区渋谷町7-7 O.Hビル301  
TEL: 03-5489-5024 FAX: 03-3770-0077

合板型枠材・合板足場材  
断熱材・新建材・一般建築材  
納材問屋

# 窪谷木材株式会社

代表取締役社長

窪谷 政二郎

(昭21 建築科卒)

〒120 東京都足立区千住仲町14-2  
TEL: 03-3888-1155(代)  
FAX: 03-3888-1145

開発・設計から製作まで、  
総合エンジニアリングでお役に立ちます。

●各種大型機械・プラント・特殊機器等の開発・設計・製作●

LP  
UNION PLANT

ユニオンプラント株式会社

〒143 東京都大田区大森北4-8-4 河内ビル4F  
TEL: 03-3765-4087 FAX: 03-3765-4092

営業部長 斉藤右二郎 (昭26機械科卒)

## 豊富な総合技術で明日をめざす

### ■ 営業品目 ■

- 橋梁
- 鉄骨、鉄構造物
- 塔、槽類及圧力容器
- 荷役機械、運搬設備
- 鋸山、製鐵機械
- 土木、建設機械
- 公害防止機器
- 省力化、自動化機器
- 各種プラント
- 鋳鋼品



株式会社 東北機械製作所

本社 / 秋田市茨島1-2-3 〒010 TEL: 0188-62-5541(代)  
 鉄構機械事業部 / 秋田市茨島1-2-3 〒010 TEL: 0188-62-5541(代)  
 (茨島工場) FAX: 0188-62-5626  
 マテリアル事業部 / 秋田市川尻若葉町6-1 〒010 TEL: 0188-62-5271(代)  
 (新川工場) FAX: 0188-62-5295  
 向浜工場 / 秋田市向浜1-3-1 〒010-16  
 (大型物組立)  
 東京営業所 / 東京都千代田区丸の内1-9-1 鉄道会館9F 〒100  
 TEL: 03-3216-3951(代)  
 FAX: 03-3287-0869  
 青森営業所 / 青森県青森市長島2-10-4 新藤ビル別館3F 〒030  
 TEL: 0177-22-5599  
 FAX: 0177-22-5599

取締役社長 佐藤 鈴男 (昭30 採鉱科卒)

専務取締役 村上 通郎 (昭26 冶金科卒)

※秋工同密会 東北機械支部長



情報・省力機器のメーカー & 総合商社

株式会社 ムサシ

〒104 東京都中央区銀座8-20-36  
TEL: 03-3542-5611(大代表)

常務取締役 志賀 英一 (昭31工業化学科卒)



大平産業株式会社

### 営業品目

- オイルスベアリング
- ボールローラーベアリング
- ニードルベアリング
- ボールネジ
- ピロプロック
- 油空圧機器及び装置
- 二硫化モリブデン系潤滑材
- その他工業機器及用品

オイルス工業株式会社 代理店  
 光洋精工株式会社 代理店  
 ダイキン工業株式会社 代理店  
 日本ピロプロック製造株式会社 代理店  
 住鋸潤滑剤株式会社 代理店

本社 / 大阪市西区立売堀1-11-2  
 TEL: 06-541-0021(代) FAX: 06-531-5293  
 東京営業所 / 東京都足立区梅田6-16-11サンハイツ1F  
 TEL: 03-3852-7101(代) FAX: 03-3852-7105

東京営業所長  
 太田 晋  
 (昭31 機械科卒)

## ニッパウエンジニアリングの粉粒体機器



- サンタリー式ロータリーバルブ
- 完全噛込防止型ロータリーバルブ
- ロータリーバルブ
- スライドゲートバルブ
- ダブルダンパー ●切換弁
- パウコンフィーター
- スクリュウフィーダー
- 〔シール型(S型)ロータリーバルブ〕  
PAT. NO.29231

NPE ニッパウエンジニアリング株式会社

本社: 〒101 東京都千代田区神田美倉町12 MH-KIYAビル  
 TEL: 03-3252-4871 FAX: 03-3252-4896

代表取締役

三浦 洋介

(昭34 機械科卒)

## きらめく光の演出

# 鳥海工業株式会社

照明器具のデザイン・設計・製作・販売・施工・管理  
 ネオンサインの製作・施工・管理

代表取締役 小松 健 (昭34 産業科卒)

〒121 東京都足立区六町3-6-16  
 TEL: 03-3850-3874 FAX: 03-3858-2200

時代が求める業務を  
トータルに展開しています。

**パブ日立工業株式会社**

**事業概要**

- 電子機器部門・各種電子機器、装置の設計、製作、調整、工事等。
- 技術調査部門・各種プラント等の組成分析、物性測定及び材料調査、試験。
- プリント部門・複写、印刷に関する企画から製作までの総合業務。
- 特殊加工部門・工場の設備を応用した各種特殊加工、製作。
- その他・各種工事及び日立グループ等の製品委託販売。

本社：〒737 広島県呉市宝町 5-3 TEL: 0823-21-4542(代)  
東京営業所：〒100 東京都千代田区大手町 2-6-2 日本ビル・パブコック日立(株)内  
TEL: 03-3270-7437 FAX: 03-3242-0566

取締役所長 佐々木 武 (昭29 機械科卒)

タワークレーンの **ogawa**

OTA-450N ハイロクレーン



株式会社小川製作所 代表取締役専務 剛端 (林) 邦夫  
小川リース株式会社 代表取締役社長 (昭31 機械科卒)

本社：千葉県松戸市松戸新田 435-13 小川ビル  
TEL: 0473-65-3211(代表) FAX: 0473-65-3273  
工場：千葉県印旛郡白井町名内 330 第2白井工業団地内  
TEL: 0474-97-0765(代表) FAX: 0474-97-1039

**DEC 大興電機株式会社**

**営業品目**

- 高低圧配電盤 ● 監視盤
- 自動制御盤 ● 計装盤
- 電気工事 ● 設計、製作、施工

本社・工場  
〒243-02 神奈川県厚木市下川入 839-3  
TEL: 0462-45-7979  
FAX: 0462-45-3299

代表取締役 佐藤 勝俊 (昭36 電気科卒)

首都圏で30年の実績  
木造住宅からビル建築まで

株式会社 **山崎工務店**  
山崎工務店一級建築士事務所

本社  
〒243 埼玉県大宮市南中野 561-3  
TEL: 048-683-6524(代)  
FAX: 048-686-5435

山崎 金作  
(昭37 土木科卒)

こころを育む環境づくりをめざして

**不動建設株式会社**

部長 小野 鉄雄 (38C 土木科卒)  
課長 鷺塚 勝幸 (39C 土木科卒)

東京本社：〒110 東京都台東区台東 1-2-1  
TEL: 03-3837-6066

**創ing Tomorrow**

明日がもっと豊かに輝くために  
21世紀に向けて創造的に前進する新井組。  
都市再開発、リゾート開発、ベイエリア開発など  
人にやさしい環境づくりをめざして  
新たな可能性と取り組んでいます。  
「創ing Tomorrow」——人と技術で明日を創造します。

株式会社 **新井組**

本社 ● 〒662 兵庫県西宮市油田町 12-20 TEL: (0798)26-3111  
東京本社 ● 〒150 東京都渋谷区恵比寿 4-3-3 TEL: (03)3442-8411

開発営業部副部長 三平 俊悦 (昭39 建築科卒)

東京秋工会会報

**KANASA**  
金砂

VOL.1 創刊号

1993年 9月 25日 発行

発行 東京秋工会  
東京都港区虎ノ門 1-18-1 第10森ビル8F  
澤木 萬國特許事務所内  
電話：03-3501-0937

発行責任者 澤木 誠一 (東京秋工会会長)

編集・制作 東京秋工会 会報制作室  
東京都渋谷区鶯谷町 7-7 O.Hビル 301  
有限会社ティー・ピー・オー内  
電話：03-5489-5024

制作管理責任者 斉藤 右二郎 (東京秋工会幹事長)

編集・制作担当 船木 一美

※ 広告掲載の詳細等につきましては、東京秋工会本部又は会報制作室までお問い合わせください。